



2023年 9月
尚徳福祉会
馬橋保育園
高松 理香

水遊びの歓声が鳴り響いた夏もあっという間に過ぎていきました。
先日のプール終いでは、幼児組さんはかき氷を食べました。「冷たいね」「甘くておいしいね」「何色にしようかな？」子どもたちのワクワクが伝わってきました。
乳児さんも、園庭で水遊びをしたり、玄関で泡遊びをしたりと夏の遊びを楽しみました。
ご家庭におかれましては、毎日水着のご用意やタオルの持参等、ご協力いただきましてありがとうございました。

4年ぶりの《阿佐ヶ谷七夕まつり》も、とても賑やかに開催されてました。ひまわり組さんのロケットも、見事に空をとんでいました。初めてのお祭りに心を踊らしていた子もいたと思います。浴衣を着て、手をつないでいる親子の後ろ姿が印象的でほほえましく感じました。当たり前だった光景が、幸せとかなじられますね。

★お願い★

- 登園、降園の打刻ですが、最近間違えが多く見受けられるようになってきました。おがーの打刻は、基本的には保護者の方にさせていただきたいと思ます。
- 自動ドアの開閉ですが、隙間に子どもが入り込んでしまったときにドアが開いて大怪我になりそうなことがありました。その時に、開閉ボタンを押したのは子どもでした。大きな事故になる前に、大切な子どもを守るためにも、皆さんで気を付けて過ごしていけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。
※基本的には開閉ボタンは保護者の方をお願いいたします。

9月の行事予定

- 1日(金) お店屋さんごっこ (幼児クラス) 引き渡し訓練
- 12日(火) 乳児計測
- 13日(水) 幼児計測
- 14日(木) 0歳児健診 英語であそぼう
- 22日(金) 避難訓練
- 28日(木) えいごであそぼう
- 30日(土) 運動会(幼児クラス)

8月は突然の雷雨が度々ありましたね。
そんな中、曇り空の日久しぶりにお散歩に出かけたすみれ組さん。
「行ってきまーす！」と元気に出かけてはみたものの、数分で雨が降ってきてしまいました。ほんむら公園で雨宿りをしていたすみれ組さんを迎えに行くと、子どもたちは滝のような雨に大喜び。暫しその様子を楽しんでいると、雲の動きに気が付いた子どもがいました。「先生、黒雲さんが逃げてみたい」「そうだね、白雲さんが太陽さんの姿を見せてくれようと、頑張っているのかな?」「よーし、僕応援するよ!がんばれ!がんばれ!」子どもたちの声援がお空に届き、青空が見えた夏の思い出です。

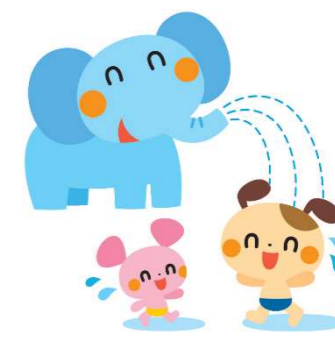
プール&水遊び 面白エピソード

玄関で水遊びを楽しんでいたたんぼぼさん。ある日のこと、水遊びをしている最中に業者さんがやってきました。ニコニコと頭を下げてご挨拶。業者さんもその可愛い姿にメロメロでした。馬橋保育園の《看板娘と息子》でしたね。

バケツにシャベル。氷水に色水。石鹸にスポンジ。ありとあらゆるものを使って楽しんでいたもも組さん。ある日、スポンジに水をたくさん含ませて頭をごしごしして、「気持ちいいね〜」と、声をかけると、「どうぞ!」とスポンジを貸してくれました。一瞬ためらった私の横で、バシャバシャとスポンジで頭をごしごししていた担任の先生「ぎゃはぎゃはぎゃは」と、大はしゃぎ。水も滴るいい男っぷりを見せてくれました。

どろんこ遊びに、泡遊びを楽しんでいたちゅうりっぷ組さん
ある日お部屋に遊びに行くと、何人かの女の子がお部屋あそびをしていました。「どろんこ遊びしないの?」の問いかけに「お気に入りの洋服、汚したくない!」女子力高めの返事でした。

大きなプールを気持ちよさそうに遊んでいた、幼児組のお友だち。流れるプールを作ったり、お相撲をしたり元気に泳いでいました。水鉄砲が始まると、ほんむら公園めがけて水を飛ばしていましたが、いつからか標的は監視をしている私に!水鉄砲が一斉に自分の方に向き、ものすごい勢いで水が向かってきました。キャーキャー言えはうほど面白く、どんどん向かってきます。「えーい、この際だから思い切り楽しんじゃお」と。。夏の遊びを満喫したのは、私も同じでした。



★もしもに備えて・・・

本日は引き取り訓練のご参加、ありがとうございました。
いつ起きてもおかしくないといわれているのが首都直下型地震です。現在帰宅困難者を増やさない取り組みで職場で待機を推奨する取り組みがなされている会社が増えてきているとのことを受けまして、万が一の時は園の備蓄状況は三日間の準備があります。子どもたちは、毎月の避難訓練で自分の身は自分で守っていけるように取り組んでいます。
今一度、何かが起きた時の避難経路や、お迎えの手段、連絡手段等々、ご家族で確認していただきたいと思ます。

2023年の十五夜は、9月29日(金)です。



お月見団子にススキをお供えするのは? ススキは月の神様の依り代と考えられています。本来は実りを象徴する稲穂をお供えしたいのですが、稲刈り前なので、稲穂に似たススキを用いるといわれたそうです。また、ススキの鋭い切り口が魔除けになるとされているため、お月見の後、軒下にススキをつるす風習もあるそうです。

